



このコーナーは新刊の心理学関連書籍を著者自らにご紹介いただくコーナーです。

心理学論文道場

基礎から始める英語論文執筆

大平英樹

子どもの頃、「マンガの描き方」「模型の作り方」のような本を、ワクワクして読んだ。何であれ創造は楽しいし、そのプロセスを思い描くことさえ楽しい。坂本先生と筆者は本書において、論文を執筆することも、そのような悦ばしい自己表現行為であることを伝えたい。本書は、論文のための英語表現を解説したものではない。初学者が、英語の論文を書こうと思いついてから採択を勝ち取るまでの各段階についての情報を伝え、それらを疑似体験してもらうことに主眼がある。為すべきこ

とがわかれば、後は努力して各段階をクリアするだけである。それは、易しくはないだろうが、多くの方にとって不可能ではない。

この場を借りてひとつ補足しておきたい。本書では、英作文は「英借文」であり、優れた英語論文から有用な表現を収集して応用することを勧めている。しかし近年では剽窃への態度が厳しくなり、剽窃検出プログラムを使用するジャーナルも増えている。他の論文の表現を安易に「借文」せず、可能な限り自分の言葉で再編する努力を、ぜひお願いしたい。



共編 坂本真士・大平英樹
発行 世界思想社
A5判 / 288頁
定価 本体 2,800円＋税
発行年月 2013年12月

おおひら ひでき

名古屋大学大学院環境学研究所教授。専門は認知神経科学、生理心理学。著書はほかに『経済学に脳と心は必要か?』(共著、河出書房新社)、『ミラーニューロンと「心の理論」』(共編、新曜社)、『感情心理学・入門』(単編、有斐閣)、『ミクロコスモスから環境へ』(分担執筆、松籟社)、『キーワードコレクション パーソナリティ心理学』(共著、新曜社)など。

心理学のための英語論文の基本表現

高橋雅治

本書は、論文執筆に役立つ英語表現を論文の各節ごとにまとめて示した英語表現集である。執筆に際しては、心理学に特有の英語表現を中心に収録することを心がけた。

執筆の初心者が例文を参考にしながら論文を執筆する場合には、剽窃の問題に陥らぬよう細心の注意を払わなければならない。そのためには、心理学の論文に共通する文章のパターンをあらかじめしっかりと体得しておき、それらを執筆内容に応じて適切に運用することにより、常に独自の文章を生成することが肝要である。そこで、

本書では、心理学論文でよく使われる410個の文章パターンを、実際の論文から引用した例文と対にして掲載した。

また、章の始めには、論文の各節を執筆する際のポイントを載せた。それらを基に論文内容のメモを作り、同時に英語に訳しておけば、論文の主要な部分は完成したことになる。さらに、章末には、心理学論文で使われる基本的な書式をコラムにまとめた。それらを通読すればAPAスタイルの基礎が身につくであろう。本書が、若手研究者の一助となれば幸いである。



共著 高橋雅治・シュワープ,D・シュワープ,B
発行 朝倉書店
A5判 / 208頁
定価 本体 3,000円＋税
発行年月 2013年11月

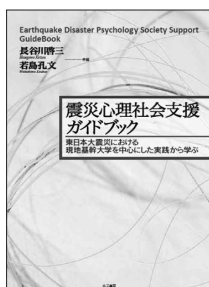
たかはし まさはる

旭川医科大学医学部教授。専門は学習心理学、認知神経科学。著書はほかに『初めての心理学英語論文 改訂新版』『心理学者のためのネットスキル・ガイドブック』(いずれも共著、北大路書房)、『オペラント心理学』(共著、勁草書房)、『新・心理学の基礎知識』『心理学辞典』(いずれも分担執筆、有斐閣)、『行動生物学辞典』(分担執筆、東京化学同人)など。

震災心理社会支援ガイドブック

東日本大震災における現地基幹大学を中心にした実践から学ぶ

若島孔文



共編 長谷川啓三・若島孔文

発行 金子書房

A5判 / 192頁

定価 本体 2,600円十税

発行年月 2013年12月

わかしま こうぶん

東北大学大学院教育学研究科准教授。海上保安庁第三管区惨事ストレス・心の健康ネットワーク委員。専門は臨床心理学。著書はほかに『匠の技法に学ぶ実践・家族面接』（共著、日本評論社）、『フリーセラピーの登壇門 改訂新版』（共編著、アルテ）、『特集大震災・子どもたちへの中長期的支援』（共編、遠見書房）、『フリーセラピー一講義』（金剛出版）など。

助者、学校教職員、発達障害者という領域を扱っている。

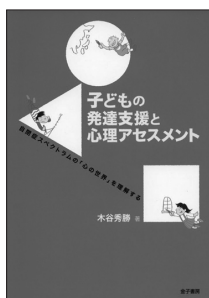
震災支援は生きたシステムを対象とするため、柔軟で変容可能なものでなくてはならない。それらは専門家が独断で決めることではなく、被災者や被災組織のニーズに沿うことが必要である。そうでないならば、誰のために専門家は支援していることになるのであろうか？

本書は専門家が被災者や被災組織のために、どのような支援が有効かという一つの参考例である。

子どもの発達支援と心理アセスメント

自閉症スペクトラムの「心の世界」を理解する

木谷秀勝



著 木谷秀勝

発行 金子書房

A5判 / 204頁

定価 本体 2,500円十税

発行年月 2013年12月

きや ひでかつ

山口大学教育学部附属教育実践総合センター教授。日本描画テスト・描画療法学会常任理事。専門は臨床心理学、自閉症スペクトラム障害の臨床心理学的アプローチ、臨床描画法。著書はほかに『特別支援教育実践のコツ：発達障害のある子どもの「苦手」を「得意」にする』『学齢期の理解と支援：特別ではない特別支援教育をめざして』（いずれも分担執筆、金子書房）など。

分らしく生きる」ために葛藤している「豊かだからこそ、傷つきやすい心の世界」を代弁した一冊です。具体的には、ASDが抱える特別支援教育の問題、成人期の就労やASDらしく生きることの難しさ、家族の思いが子に重く感じる支援の現状、成長するからこそ生じる問題への理解、そしてWISC-III (IV)の臨床的活用などを中心に、数多くの事例と心理アセスメントの実践例を紹介しています。この本を通して多くの家族・教師・専門家の方々がASDの「心の世界」を理解する一助となれば幸いです。